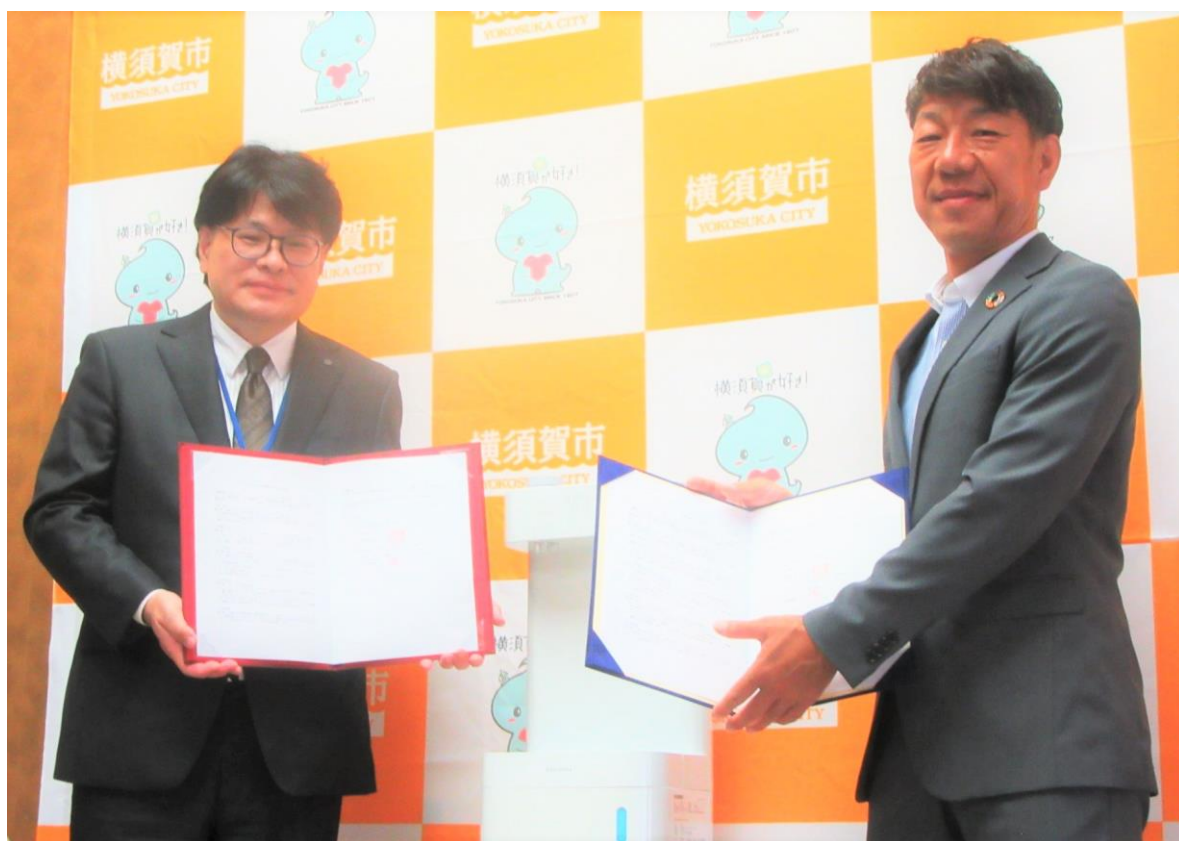


報道関係者各位

6/27（月）神奈川県横須賀市と  
「ゼロカーボンシティ推進に関する協定」を締結

水道直結ウォーターサーバーのレンタル事業を行うウォータースタンド株式会社（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役社長：本多 均、以下当社）は、2022年6月27日（月）に神奈川県横須賀市（市長：上地 克明）と「ゼロカーボンシティ推進に関する協定」を締結したことをお知らせいたします。



写真左より：横須賀市 環境部長 山口博之様、ウォータースタンド株式会社 取締役 近藤紀行

## ■横須賀市長 上地 克明様 コメント

横須賀市は、2021(令和3)年1月に「横須賀市ゼロカーボンシティ宣言」をし、同年10月には「地球を守れ横須賀ゼロカーボン推進条例」を制定しました。また、これらの宣言や条例制定を踏まえ、2022(令和4)年度から新たな「ゼロカーボンシティよこすか 2050アクションプラン」を策定しました。

近年、世界各地において生じている地球温暖化を主な要因とした猛暑や短時間豪雨、農作物の不作、生態系の変化など、人々だけでなく地球全体に深刻な被害をもたらす気候変動の影響は、本市においても脅威となっています。

地球規模の問題ではあるものの、これらの課題に対応していくためには、まずは一人ひとりがこの問題を「自分ごと」として捉える必要があります。

本市の取り組みと御社の提供するウォーターサーバーによって環境問題の啓発を推進し、市民一人ひとりがマイボトルを持つことが当たり前となり、ペットボトルの使用量削減や廃プラスチックの発生を抑制することで、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするアクションの一助となることを期待しています。

## ■協定の概要

横須賀市は、上位計画である「YOKOSUKA ビジョン 2030」（横須賀市基本構想・基本計画）が、環境分野の未来像として掲げる『「自分ごと」の意識が未来を守るまち』を実現する分野別計画として2022（令和4）年3月に「横須賀市環境基本計画2030」を策定されています。同計画におけるリーディングプロジェクトには、海洋プラスチックごみ対策に寄与し循環型社会に構築を進めるための取り組みとして、プラスチックごみに焦点を当てた「プラスチックスマート推進プロジェクト」が盛り込まれ、マイボトルなどの使用によるプラスチック製品の使用抑制が推進されています。また、同プロジェクトでは、環境教育・環境学習を展開するにあたり海洋プラスチックごみ問題をきっかけとした意識醸成も計画されています。

当社は、これまでの同市の取り組みをさらに推し進めるため、当協定締結の下、市内各所の公共施設にマイボトルへの給水が可能なウォータースタンドを設置します。また、マイボトルなどのリユース可能な容器の活用を通じたワンウェイプラスチック製品の使用抑制について市民及び事業者との連携を図り、地球環境の維持と改善を図って参ります。

## ■横須賀市の「ゼロカーボンシティよこすか」に向けた取り組み

横須賀市は、「ゼロカーボンシティよこすか 2050アクションプラン」の「脱炭素社会をめざして一人ひとりが賢く選択し、快適に暮らすまち」における市民生活のイメージで、取り組みの一つに「ごみ減量・リサイクルへの参加」を掲げています。ごみを減らすことは廃棄物処理量の削減やCO2削減やエネルギー削減等につながり気候変動の影響を緩和するほか、地球温暖化に伴う気温上昇による熱中症の患者数増加を回避する観点でリユース可能なマイボトルなどの利用は循環型都市の形成に寄与します。

当社は、同市の取り組みを後押しすべく公共施設にウォータースタンドを設置し、全世界的な喫緊の課題である地球温暖化や海洋プラスチックごみ問題解決に向け協働して参ります。同時に、当社のこれまでの知見を活用し住民や事業者らと連携を深め、地域と一体となり社会課題解決に寄与して参ります。

## ■ウォータースタンドについて

水道直結ウォーターサーバー「ウォータースタンド」は、ボトル不要でいつでもおいしい飲料水が使える利便性の高さ、運搬や使い捨て容器を必要としないエコな給水システムが支持され、子育て世帯を中心とした個人宅や、SDGs達成に取り組む法人、大学などに支持されています。

### ・当社の使い捨てプラスチックボトル削減に向けた取り組み

当社は使い捨てプラスチックボトル30億本の削減をミッションに掲げ、横須賀市を含め全国の地方公共団体・教育委員会と「ボトルフリープロジェクト」を推進しています。当社の「ボトルフリープロジェクト」は、誰もがアクセスできる水道水を活用し環境負荷が少ない給水スタンドを整備し、マイボトル活用を推進するものです。本活動を通じて、使い捨てプラスチック削減・CO2排出抑制による気候変動の緩和と、水分補給による熱中症などの被害・健康増進による気候変動への適応の両立を実現します。この取組への協力を様々な組織・団体等に呼びかけながら、同様の取組を日本全国に拡大していきます。

・当社の取組みの事例掲載・受賞一覧

- ・脱炭素チャレンジカップ 2022 「オルタナ最優秀ストーリー賞」
- ・令和3年度「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」受賞
- ・2021年度日本子育て支援大賞
- ・農林水産省・消費者庁・環境省連携 サステナアワード 2020 伝えたい日本の"サステナブル" サステナアワードルーキー賞
- ・経済産業省関東経済産業局 中小企業のSDGs取組事例
- ・国立環境研究所気候変動適応センター 気候変動適応情報プラットフォーム

■自治体との協定締結実績一覧

※ 2022年4月満了

協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名	協定締結年月	自治体名
2019年 6月	さいたま市 (埼玉県)	2021年 4月	吹田市 (大阪府)	2022年 3月	白岡市 (埼玉県)
2019年 9月	葉山町 (神奈川県)	2021年 6月	亀岡市・亀岡市教育委員会 (京都府)	2022年 3月	川崎町 (福岡県)
2019年 11月	所沢市 (埼玉県)	2021年 6月	渋谷区 (東京都)	2022年 3月	多摩市 (東京都)
2020年 1月	京都市 (京都府)	2021年 6月	泉大津市 (大阪府)	2022年 3月	神崎町 (千葉県)
2020年 2月	鎌倉市 (神奈川県)	2021年 7月	さいたま市教育委員会 (埼玉県)	2022年 4月	熊取町 (大阪府)
2020年10月	世田谷区 (東京都)	2021年 8月	日野町 (滋賀県)	2022年 4月	明和町 (三重県)
2021年 1月	館林市 (群馬県)	2021年 8月	上尾市 (埼玉県)	2022年 5月	上野村 (群馬県)
2021年 1月	小田原市 (神奈川県)	2021年 9月	島本町 (大阪府)	2022年 5月	町田市 (東京都)
2021年 3月	川崎市 (神奈川県)	2021年11月	藤岡市 (群馬県)	2022年 5月	浜松市 (静岡県)
2021年 3月	藤沢市 (神奈川県)	2021年11月	岡山市 (岡山県)	2022年 5月	二宮町 (神奈川県)
2021年 4月	志摩市 (三重県)	2021年12月	直方市 (福岡県)	2022年 5月	山梨市 (山梨県)
2021年 4月	※春日部市 (埼玉県)	2022年 1月	杉並区 (東京都)		
2021年 4月	西宮市 (兵庫県)	2022年 1月	丹波篠山市 (兵庫県)		
2021年 4月	尼崎市 (兵庫県)	2022年 3月	妙高市 (新潟県)		

令和4年5月31日時点

【ウォータースタンド株式会社 概要】

代表取締役社長：本多 均 (ほんだ ひとし)  
 本社：埼玉県さいたま市大宮区桜木町 4-463 (全国 64 拠点 2022 年 5 月末)  
 設立：1969 年 3 月 資本金：5,000 万円  
 事業内容：水道直結ウォーターサーバー「ウォータースタンド」・空気清浄機レンタル

【問合せ先】

ESG 推進室 担当：武井 (たけい)  
 TEL：048-657-6731  
 e-Mail：pr@waterstand.co.jp  
 コーポレートサイト <https://waterstand.co.jp/>  
 サービスサイト <https://waterstand.jp/>